

令和4年度第5回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和4年8月2日（火）13：30～14：45 教授会室

出席者： 廣川理事長（議長）、宮川副理事長、山根理事、安原理事、
井手環境科学研究院長、南川先端工学研究院長、棚瀬人間文化学研究院長、
伊丹人間看護学研究院長、村上環境科学部長、
京楽人間文化学部長、糸島人間看護学部長、八里事務局次長、遠山委員、
森委員、矢吹委員

欠席者： 高橋理事、徳満工学部長

事務局： 高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、
山中地域連携・研究支援課長、出口高等専門学校開設準備室長、
前田課長補佐、藤居主幹

令和4年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

- 1 教育研究評議会からの理事長候補者の推薦について
八里事務局次長から資料に基づき説明があり、審議の結果、教育研究評議会から推薦する理事長候補者の選考方法について、原案のとおり承認された。
- 2 理事長選考会議委員が欠けた場合の対応について
八里事務局次長から資料に基づき説明があり、審議の結果、事務局案のとおり承認された。
- 3 「研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」の改正について
安原研究・評価担当理事から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

[主な意見・質疑等]

- ・当該規程は、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」と「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」の両方に対応する規程とのことであるが、規程名が「研究活動上の不正行為の防止等に関する規程」となっており、網羅する内容と規程名が合致していないのではないか。
→規程名を変更となると改正ではなく、新規規程の制定となるため、規程名は変更していない。また、文部科学省に対しても確認済である。

報告事項

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部本部員会議について
宮川副理事長から資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・滋賀医大では、授業での感染も認められている。今回は、夏季休業中の注意事項であったと思うが、後期授業開始時の注意事項についても、今後定める必要があるのではないか。
→感染の状況を踏まえて、どのような対策をとるべきか検討する予定である。
- ・濃厚接触者への対応について、他府県では自宅待機期間が7日間のままなど、府県によって対応が異なっていることもあると聞く。学生は県内居住者とは限らないが、学生は、自身が濃厚接触者となった場合の基本的な対応方法を知っているのか。
→濃厚接触者になった場合や自身が感染した場合の対応について、フロチャートで示した資料を配布している。また、教職員用にも対応フロチャートを作成し周知している。

2 令和3年度監事監査結果報告について

寺村経営企画課長から資料に基づき報告があった。

3 「オープンキャンパス2022」の結果概要について

郡田教務課長から資料に基づき報告があった。

4 各委員会の結果の概要について

- (1) 令和4年度第1回広報戦略委員会
- (2) 令和4年度第4回衛生委員会
- (3) 令和4年度第2回研究推進委員会
- (4) 令和4年度第1回学生支援委員会

[主な意見・質疑等]

- ・障がい学生支援の状況について、対象となる学生は何名いるのか。また、どのようなサポートを行っているのか。
→配慮を必要とする学生は56名いる。当該学生は、主に精神障害（発達障害）があり、レポート等の提出期限に配慮するなどの授業に対する支援を行っている。
- ・就職支援について、個別相談の時間が15分とのことであるが、短くないか。
→就職のことは全体説明の中で行っていることから、個別相談では、学生の成績の状況、生活状況について担当教員が相談を受けている。
- ・課外活動団体の設立・解散について、新たに認められた2団体は何か。
→喜劇研究会とボードゲーム研究会を新たに認めた。
- ・鳥人間コンテストへの出場について、過去に出場され県立大学の知名度向上に役立っていたと記憶しているが、今はどうなっているのか。
→研究会自体は存続している。しかし、現在、鳥人間コンテストからの技術要求水準が高く、その水準まで達していない状況である。